

使用済燃料の中間貯蔵を目的とした新会社の設立について

平成 17 年 11 月 8 日
東京電力株式会社
日本原子力発電株式会社

東京電力株式会社と日本原子力発電株式会社は、このほど、原子力発電所から発生する使用済燃料の貯蔵・管理を目的とする新会社「リサイクル燃料貯蔵株式会社」（予定）を青森県むつ市に設立することといたしました。

新会社の設立は平成 17 年 11 月 21 日を予定しております。

東京電力株式会社と日本原子力発電株式会社は、新会社の事業運営について適切な支援を行っていくとともに、地域の皆さまにより一層のご理解・ご信頼をいただけるよう、新会社とともに全力で取り組んでまいります。

以 上

(別紙 1)

＜リサイクル燃料貯蔵株式会社の概要＞

会 社 名：リサイクル燃料貯蔵株式会社（予定）

英 訳 名：Recyclable – Fuel Storage Company（略称；RFS）

所 在 地：青森県むつ市旭町 1 – 15

設 立 日：平成 17 年 11 月 21 日（予定）

事業内容：東京電力株式会社ならびに日本原子力発電株式会社の原子力発電所から発生する使用済燃料の貯蔵・管理、およびこれに付帯関連する事業

資 本 金：30 億円

株 主：東京電力株式会社（80%）、日本原子力発電株式会社（20%）

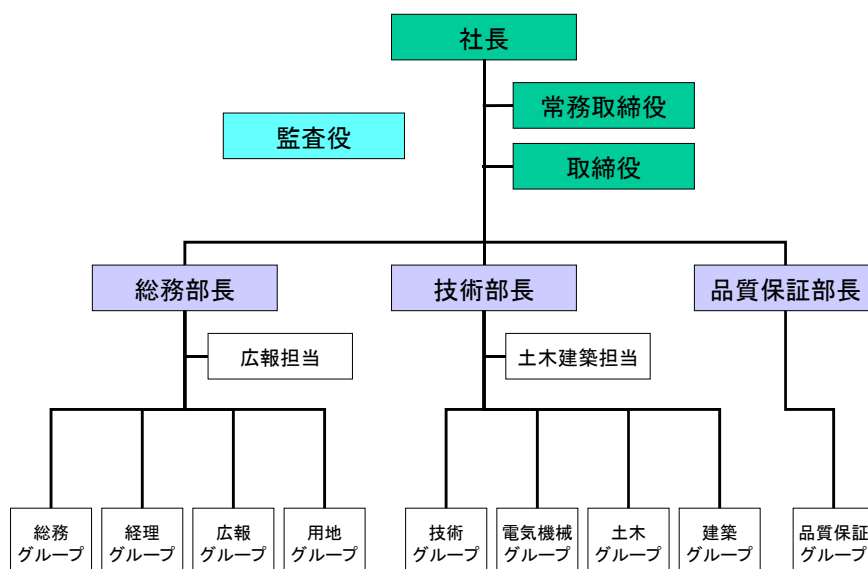
社 員 数：40 名程度

役 員：（予定者）

取締役社長	久保 誠（東京電力株式会社）
常務取締役	清水 勝利（日本原子力発電株式会社）
取締役	安井 浩明（東京電力株式会社）※
取締役（非常勤）	鈴木 一弘（東京電力株式会社）
取締役（非常勤）	野中 洋一（日本原子力発電株式会社）
常任監査役	守屋 喜一郎（東京電力株式会社）
監査役（非常勤）	松本 芳彦（東京電力株式会社）
監査役（非常勤）	安部 芳文（日本原子力発電株式会社）

※は総務部長兼務

組 織 図：



(別紙 2)

< 事業の概要 >

計画地点：青森県むつ市大字関根字水川目地内

操業開始：2010 年までに操業開始予定

- ・地域の皆さまのご理解を得ながらできるだけ早期の操業開始を目指します。

貯 蔵 量：最終貯蔵量 5,000 トン（1 棟目 3,000 トン）

- ・東京電力分 4,000 トン程度、日本原子力発電分 1,000 トン程度。

貯蔵期間：施設ごとの使用期間は 50 年間。各キャスク（貯蔵容器）ごとの貯蔵期間も最長 50 年間。また、操業開始後 40 年目までに貯蔵した使用済燃料の搬出について協議。

搬 入 量：年間 200 トン～300 トン程度の使用済燃料を 4 回程度に分けて搬入。

建 設 費：1,000 億円程度（この内金属キャスクの費用が 7～8 割）

○リサイクル燃料備蓄センター イメージ図



【約 130m × 約 60m ×（高さ）約 30m（3,000 トン規模の場合）】